

平成 15 年 4 月 23 日

各 位

株式会社システム・テクノロジー・アイ
 代表取締役社長 松 岡 秀 紀
 (証券コード：2345) 東証マザーズ
 東京都中央区銀座三丁目 9 番 19 号
 (お問い合わせ先) 常務取締役管理本部長 白井 健司
 電話 03-5148-0400

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 14 年 11 月 13 日に公表いたしました平成 15 年 6 月期（平成 14 年 7 月 1 日～平成 15 年 6 月 30 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 当期の業績予想数値の修正（平成 14 年 7 月 1 日～平成 15 年 6 月 30 日）

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	1,200	103	56
今 回 修 正 予 想 (B)	1,130	5	1
増 減 額 (B - A)	△70	△98	△55
増 減 率 (%)	△5.8	△95.1	△98.2
前 期 実 績 (平 成 1 4 年 6 月 期)	954	101	55

2. 修正の理由

当社は、IT エンジニアのスキルアップに貢献すべく、事業を展開しております。景気低迷による顧客企業側の教育費削減や IT 投資削減傾向の中、通期の業績予想数値に関して、売上高 1,130 百万円（70 百万円の減少）、経常利益、5 百万円（98 百万円の減少）、当期純利益は、1 百万円（55 百万円の減少）にそれぞれ予想を修正いたします。

主力事業である iLearning 事業（インターネットを使った E-Learning）においては、Oracle・MCP 等の既存 iStudy 関連製品は堅調に推移しているものの、昨年 8 月にリリースを開始した企業向けのエンタープライズライセンスは、3 月末時点で販売目標社数 80 社に対し実販売社数 56 社と目標を下回りました。また、本年 1 月以降にリリースをした iStudy BB シリーズ(13 製品)や iStudy for IT Skills シリーズ (11 製品) 等については、まだ広く認知されておらず大幅な売上増に結びついていないものの、売上高は計画以上となりました。経常利益等につきましては、原価率の高い商品の売上増により、原価率が上昇しており、従来予想利益を下回りました。Learning 事業（教室での認定研修）においては、景気低迷による影響で顧客企業の大幅な教育費削減のため、開催 1 回あたりの受講者の割合や実施回数も減少しており、売上・利益共に計画を下回っております。さらに、Products&Services 事業においては、案件の規模が縮小される等の理由により売上・利益共に

計画を下回っております。従いまして、全体としては iLearning 事業が他の 2 事業分を補うまでには届かず、当初の計画を下回ることが予想されますので業績修正をいたします。

主力の iLearning 事業においては、依然として企業が教育費を最適化したいというニーズは潜在的に高く、新製品の投入及び企業向けのエンタープライズライセンスの販促に注力し売上・利益とも拡大していく方針です。また、Learning 事業及び Products&Services 事業においては、原価低減及び利益確保を目指し、質を重視した方針で取り組んでまいり所存です。

なお、第 3 四半期の実績につきましては、今月 4 月 30 日に発表を予定しております。

以上

ご注意： 本資料に記載されている現在の計画・見通しなどのうち、既に確定した事実でないものは将来に関する見通しであり、これらは発表日現在に入手可能な各種データに基づいて作成されたものであります。従って、実際の業績は様々な不確定要素が内在しており、上記の見通しとは大きく異なる結果となり得る場合もありますので、ご承知おきください。
--